主要指標の動き

2026年9月11日時点（1週間前＝9月4日、3ヵ月前＝6月11日、6ヵ月前＝3月11日、1年前＝2025年9月11日）なお、休場の場合は直前の営業日のデータを使用

	指標	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
世界	世界株価 注1	634.61	▲ 0.9	4.3	12.7	19.2	13.8
	先進国株価 注2	15,975.25	▲ 1.0	4.3	12.4	17.5	12.5
	先進国(除く日本)株価 注3	18,368.99	▲ 1.0	4.0	12.2	16.9	11.9
	新興国株価 注4	952.93	▲ 0.2	4.0	14.9	33.9	24.3
日本	日経平均株価	64,011.34	▲ 1.6	▲ 0.3	16.3	44.3	27.2
	JPX日経インデックス400	36,143.98	▲ 1.9	4.3	7.9	27.8	17.7
	TOPIX (東証株価指数)	4,028.30	▲ 1.8	5.2	8.9	28.0	18.2
	東証プライム市場指数	2,078.07	▲ 1.8	5.2	9.0	28.2	18.3
	東証スタンダード市場指数	1,681.49	▲ 1.8	6.5	▲ 2.4	12.3	9.3
	東証グロース市場指数	983.09	▲ 3.4	6.0	▲ 2.5	▲ 1.2	11.2
米国	NYﾀﾞｳ 工業株30種	52,573.29	▲ 1.6	3.4	10.9	14.0	9.4
	S&P 500種	7,656.98	▲ 0.8	3.6	13.0	16.2	11.9
	ナスダック総合	26,333.04	▲ 0.7	2.0	15.9	19.5	13.3
	ナスダック100	29,368.44	▲ 0.6	▲ 0.3	17.6	22.4	16.3
	ﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ半導体	11,824.00	0.8	▲ 10.2	49.4	97.2	66.9
欧州	欧州 ｽﾄｯｸｽ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ600	639.10	▲ 1.7	2.8	6.1	15.1	7.9
	英国 FTSE100	10,650.44	▲ 1.7	3.4	2.9	14.6	7.2
	ユーロ圏 ユーロ・ストックス	667.47	▲ 0.9	2.9	8.5	16.5	9.0
	ドイツ DAX	25,568.56	▲ 1.8	5.6	8.2	7.9	4.4
アジア・オセアニア	中国 CSI300	4,510.16	▲ 0.8	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 0.8	▲ 2.6
	中国 上海A株	4,076.79	▲ 1.1	▲ 2.5	▲ 5.9	0.4	▲ 2.0
	中国 深圳A株	2,580.17	▲ 1.1	▲ 7.7	▲ 10.1	▲ 0.1	▲ 2.6
	中国 創業板	3,322.04	1.1	▲ 12.8	▲ 0.8	8.8	3.7
	香港 ハンセン	24,805.63	▲ 3.3	2.3	▲ 4.2	▲ 4.9	▲ 3.2
	台湾 加権	46,184.85	▲ 0.8	7.0	35.4	83.2	59.5
	韓国 KOSPI	6,909.91	3.3	▲ 11.0	23.2	106.6	64.0
	シンガポール ST	5,695.93	▲ 1.8	14.2	17.1	30.8	22.6
	マレーシア FBM KLCI	1,686.74	▲ 1.3	0.4	▲ 1.3	6.6	0.4
	タイ SET	1,604.52	0.6	2.0	14.0	24.6	27.4
	インドネシア ｼﾞｬｶﾙﾀ総合	6,541.38	▲ 1.4	11.1	▲ 11.5	▲ 15.6	▲ 24.4
	フィリピン 総合	6,061.81	▲ 0.5	2.6	▲ 1.6	▲ 1.1	0.1
	ベトナム VN	1,795.21	▲ 3.1	▲ 0.2	3.9	8.3	0.6
	インド SENSEX	74,781.76	▲ 2.3	1.3	▲ 2.7	▲ 8.3	▲ 12.2
	豪州 S&P/ASX200	8,741.21	▲ 2.9	1.3	▲ 0.0	▲ 0.7	0.3
中南米	ブラジル ボベスパ	187,206.89	1.1	9.2	1.8	30.8	16.2
	メキシコ IPC	63,924.77	▲ 1.5	▲ 4.6	▲ 5.4	3.9	▲ 0.6
他	南ｱﾌﾘｶ FTSE/JSEｱﾌﾘｶ全株	115,165.30	▲ 1.3	4.5	▲ 1.9	10.8	▲ 0.6
債券	日本国債 注5	282.78	▲ 0.5	▲ 1.8	▲ 5.2	▲ 8.2	▲ 5.5
	先進国(除く日本)国債 注6	1,064.08	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.9	▲ 0.1	▲ 0.8
	新興国債券 注7	939.04	▲ 0.9	▲ 0.3	1.2	4.6	2.5
利回り*	日本国債2年物	1.844	0.000	0.420	0.587	0.982	0.666
	日本国債10年物	2.987	0.069	0.297	0.815	1.406	0.921
	日本国債20年物	3.811	0.088	0.221	0.762	1.161	0.827
	日本国債30年物	4.054	0.059	0.171	0.601	0.824	0.653
	米国債2年物	4.626	0.259	0.563	0.972	1.082	1.151
	米国債10年物	4.968	0.185	0.506	0.736	0.946	0.799
	米国債20年物	5.386	0.137	0.425	0.536	0.774	0.592
	米国債30年物	5.354	0.110	0.398	0.473	0.700	0.509
	ドイツ国債2年物	3.195	0.246	0.516	0.817	1.209	1.073
	ドイツ国債10年物	3.504	0.165	0.472	0.572	0.847	0.649
	イタリア国債10年物	4.352	0.203	0.555	0.684	0.900	0.801
	スペイン国債10年物	3.961	0.190	0.489	0.553	0.730	0.673
商品など	東証REIT(配当込み)	4,822.14	▲ 1.5	▲ 0.5	▲ 9.6	▲ 4.5	▲ 10.3
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)	836.06	▲ 1.5	▲ 1.2	4.2	8.8	9.6
	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 注8 (ﾍｯｼﾞなし・円ﾍﾞｰｽ)	986.72	▲ 3.2	▲ 5.6	0.7	13.4	7.3
	香港REIT 注9	647.58	▲ 2.4	2.8	1.6	▲ 3.7	9.3
	オーストラリアREIT 注9	1,152.23	▲ 3.6	▲ 9.1	▲ 2.7	▲ 17.7	▲ 14.7
	北海ブレント原油先物	104.61	8.7	15.7	13.7	57.6	71.9
	WT原油先物	100.05	9.4	14.1	14.7	60.4	74.2
	ニューヨーク金先物	4,408.90	▲ 1.5	7.2	▲ 14.9	20.0	1.6
	CRB指数	423.08	1.6	14.4	19.2	40.9	41.6
	シンガポール鉄鉱石先物	96.52	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 8.5	▲ 8.4
	S&P MLPﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	13,223.25	0.2	9.8	12.6	34.4	32.7
	S&P BDCﾄｰﾀﾙﾘﾀｰﾝ指数	398.00	▲ 2.5	4.5	7.8	▲ 8.9	▲ 4.6
	ビットコイン	77,310.67	▲ 3.0	22.1	9.4	▲ 32.4	▲ 11.8

＊「利回り」変化のデータは、騰落率(%)ではなく、騰落幅
注8 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数 ：S&PｸﾞﾛｰﾊﾞﾙREIT指数(配当込み)
注9 香港/ｵｰｽﾄﾗﾘｱREIT指数 ：S&Pの各地域/国REIT指数(配当込み、現地通貨ﾍﾞｰｽ)

	為替(米ﾄﾞﾙ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽを除き、対円)	先週末	騰落率(%) 週間	3カ月	6カ月	1年	25年末比
北米	米ドル・インデックス	99.12	▲ 0.1	▲ 0.7	▲ 0.1	1.6	0.8
	米ドル	153.61	▲ 1.7	▲ 4.0	▲ 3.4	4.3	▲ 2.0
	カナダ・ドル	110.84	▲ 1.9	▲ 3.2	▲ 5.2	4.1	▲ 3.0
欧州	ユーロ	178.11	▲ 1.8	▲ 3.8	▲ 3.1	3.1	▲ 3.2
	英ポンド	207.74	▲ 1.7	▲ 3.2	▲ 2.6	4.0	▲ 1.6
	スイス・フラン	188.11	▲ 2.5	▲ 6.5	▲ 7.6	1.7	▲ 4.8
	スウェーデン・クローナ	15.83	▲ 3.0	▲ 6.6	▲ 8.1	0.0	▲ 7.0
	アイスランド・クローネ	1.276	▲ 1.0	▲ 1.0	0.4	5.7	2.2
	ノルウェー・クローネ	16.53	▲ 1.5	▲ 1.9	0.4	10.7	6.4
	デンマーク・クローネ	23.83	▲ 1.8	▲ 3.8	▲ 3.2	2.9	▲ 3.3
アジア・オセアニア	中国人民元	22.92	▲ 1.6	▲ 3.0	▲ 0.9	10.8	2.1
	香港ドル	19.58	▲ 1.8	▲ 4.1	▲ 3.6	3.6	▲ 2.7
	台湾ドル	4.85	▲ 1.8	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 0.1	▲ 2.7
	韓国ウォン(100ｳｫﾝ当たり)	11.45	▲ 1.5	9.6	6.3	8.0	5.5
	シンガポール・ドル	121.23	▲ 1.7	▲ 2.7	▲ 2.8	5.5	▲ 0.5
	マレーシア・リンギ	37.86	▲ 2.2	▲ 4.1	▲ 6.4	8.0	▲ 1.9
	タイ・バーツ	4.65	▲ 2.1	▲ 4.8	▲ 7.1	0.1	▲ 6.5
	ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ・ﾙﾋﾟｱ(100ﾙﾋﾟｱ当たり)	0.872	▲ 1.6	▲ 2.0	▲ 7.4	▲ 2.6	▲ 7.2
	フィリピン・ペソ	2.460	▲ 1.4	▲ 6.0	▲ 8.1	▲ 4.8	▲ 7.4
	ﾍﾞﾄﾅﾑ・ﾄﾞﾝ(100ﾄﾞﾝ当たり)	0.593	▲ 1.0	▲ 2.4	▲ 2.1	6.3	▲ 0.5
	インド・ルピー	1.61	▲ 2.7	▲ 3.8	▲ 6.7	▲ 3.4	▲ 7.9
	オーストラリア・ドル	110.12	▲ 2.2	▲ 2.3	▲ 3.1	12.3	5.3
	ニュージーランド・ドル	89.35	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 4.9	1.6	▲ 1.1
中南米	ブラジル・レアル	29.98	▲ 1.6	▲ 4.5	▲ 2.7	9.8	5.3
	メキシコ・ペソ	9.05	▲ 2.2	▲ 2.4	0.6	13.5	4.0
	ｺﾛﾝﾋﾞｱ・ﾍﾟｿ(100ﾍﾟｿ当たり)	4.98	▲ 0.4	8.7	15.9	31.7	19.9
	チリ・ペソ(100ペソ当たり)	16.29	▲ 2.7	▲ 8.2	▲ 8.1	5.4	▲ 6.4
	ペルー・ヌエボ・ソル	45.65	▲ 1.7	▲ 3.3	▲ 1.7	8.2	▲ 2.0
東欧	ポーランド・ズロチ	41.20	▲ 2.1	▲ 5.5	▲ 4.8	1.5	▲ 5.6
	ﾊﾝｶﾞﾘｰ・ﾌｫﾘﾝﾄ(100ﾌｫﾘﾝﾄ当たり)	48.98	▲ 2.2	▲ 6.6	3.3	11.0	2.3
	ルーマニア・レイ	33.90	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 6.1	▲ 0.5	▲ 6.2
	トルコ・リラ	3.16	▲ 2.0	▲ 8.5	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 13.1
その他	南アフリカ・ランド	9.53	▲ 2.6	▲ 3.1	▲ 1.1	12.4	0.7
	エジプト・ポンド	2.99	▲ 2.5	▲ 2.7	▲ 2.2	▲ 2.0	▲ 9.1

（騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス▲の場合は円高）

注1 世界株価指数 ：MSCIｵｰﾙｶﾝﾄﾘｰﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注2 先進国株価指数 ：MSCIﾜｰﾙﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注3 先進国(除く日本)株価指数 ：MSCI-KOKUSAIｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注4 新興国株価指数 ：MSCIｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾄ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ、税引後配当込み)
注5 日本国債指数 ：FTSE日本国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(円ﾍﾞｰｽ)
注6 先進国(除く日本)国債指数 ：FTSE世界国債ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(除く日本、米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)
注7 新興国債券指数 ：JPﾓﾙｶﾞﾝ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞ・ﾏｰｹｯﾂ・ﾎﾞﾝﾄﾞ・ｲﾝﾃﾞｯｸｽ・ﾌﾟﾗｽ(ﾍｯｼﾞなし・米ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)

※右表の為替ﾚｰﾄは原則としてﾆｭｰﾖｰｸの17時時点のものであり、弊社投資信託の基準価額の算定に用いられるものと大きく異なることがあります。また、ビットコインのﾃﾞｰﾀもﾆｭｰﾖｰｸ17時時点です。
※指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。
※データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

先週の主な出来事（株式市場での反応を○、△、×の順で評価）

日付	市場の反応	国・地域	指標など（コメント）
9月7日（月）	×	中国	**政府、銀行・保険大手8社に資本注入** 銀行・保険大手8社が6日、合計で最大3,600億元の資本増強計画を発表し、財務省は、特別国債で調達する3,000億元を同計画に投じるとした。7日の株式市場では、増資に伴なう株式価値の希薄化が懸念され、金融株が売られたことなどから、香港株式相場は下落した。本土市場では、半導体株が急伸し、金融株の下げを相殺したことなどから、相場は僅かに上昇した。また、人民元が対ﾄﾞﾙで上昇し、一時、2023年2月以来の高値をつけた。
	△	日本	**円相場、夕方に154円台に急伸** 前週末の米国で半導体関連株が買われた流れを受け、日本や台湾、韓国でも株式相場が続伸した。日本の国債利回りは、円安進行の一服を受け、低下する場面もあったが、前週末の米国で利上げ観測が高まり、国債が売られた影響などから超長期債を中心に上昇した。円相場は、概ね1ﾄﾞﾙ＝156円前後で推移した後、夕方には154円台に急伸した。
	△	欧州	**独州議会選挙で極右政党AfD(ﾄﾞｲﾂのための選択肢)が第1党に躍進** ﾄﾞｲﾂ東部ｻﾞｸｾﾝ・ｱﾝﾊﾙﾄ州で6日に投開票された州議会選挙で、移民の排斥などを掲げる極右政党が、単独過半数には至らないものの、第1党に躍進する見通しとなった。ﾒﾙﾂ首相が党首を務める中道右派CDU(ｷﾘｽﾄ教民主同盟)は大敗した。また、週末に、米国とｲﾗﾝがﾎﾙﾑｽﾞ海峡でﾀﾝｶｰ攻撃の応酬となった。7日には、同海峡での航行管理を巡り、ｲﾗﾝとｵﾏｰﾝが数日内に合意する予定だと、ｲﾗﾝ外務省の報道官が明らかにした。欧州の原油先物が上昇した。独州議会選挙の結果を受け、国政にも影響が及ぶ可能性があるとして、欧州の国債利回りが上昇した。一方、株式相場は総じて小動き、ﾏﾁﾏﾁとなった。なお、米国はﾚｰﾊﾞｰﾃﾞｰの祝日で休場だった。
8日（火）	×	世界	**ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱのｴﾈﾙｷﾞｰ施設がﾌｰｼ派の攻撃を受ける** ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱは、同国南部のｴﾈﾙｷﾞｰ施設がｲｴﾒﾝの親ｲﾗﾝ武装組織ﾌｰｼ派の攻撃を受けたと発表した。ｱｼﾞｱ時間に、欧米の原油先物が上昇した。日本では、4-6月期のGDP改定値が前期比年率+1.4%と、速報から上方修正された。また、7月の名目賃金が前年同月比+4.7%、実質賃金は+2.4%と、それぞれ、1997年1月、2021年5月以来の高い伸びとなった。日銀による利上げﾍﾟｰｽ加速の可能性が意識され、円売り・ﾄﾞﾙ買いの持ち高を解消する動きが強まり、円相場は一時、152円89銭前後まで上昇し、2月中旬以来の高値をつけた後、153円台で推移した。なお、対ﾕｰﾛでも一時、1ﾕｰﾛ＝177円86銭前後と、2025年11月以来の高値をつけた。中東情勢を巡る懸念に加え、円高を受けて輸出関連株が売られたこともあり、株式相場は反落した。国債利回りは、円の急伸でｲﾝﾌﾚ圧力が和らぐとの見方が拡がったことなどから、低下した。中国では、8月の貿易統計(ﾄﾞﾙ・ﾍﾞｰｽ)が発表され、輸出が前年同月比+25.0%、輸入は+28.2%と、ともに前月の伸びを上回った。本土株式が続伸したが、香港株式は中東懸念などから続落した。
	×	米国	**中東不安に伴なう原油高や米・ｶﾅﾀﾞの関税の応酬が嫌気される** 中東情勢の悪化懸念などから、欧米の原油先物が続伸した。ただし、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領がﾛｼｱのﾌﾟｰﾁﾝ大統領と電話会談を行ない、ｳｸﾗｲﾅ紛争の早期終結に向け、自身の任期中に突破口を開くことに意欲を示したと報じられると、原油先物が売られる場面もあった。欧州の国債利回りは、ﾄﾞｲﾂなどで上昇する場面もあったものの、原油先物の上げ幅が縮まったことなどから、低下して引けた。欧州株式相場は小動き、ﾏﾁﾏﾁとなった。連休明けとなった米国では、原油高を受けて国債利回りが上昇した。また、ﾄﾗﾝﾌﾟ大統領が8月下旬にｶﾅﾀﾞに対して50%の追加関税を発動したことを受け、ｶﾅﾀﾞが最大50%の報復関税を発動した。原油高に加え、両国の対立への懸念もあり、株式相場が続落したが、半導体関連株は堅調だった。外国為替市場では、原油高や米長期金利の上昇を受け、円相場が154円前後に下落した。
9日（水）	△	ｱｼﾞｱ	**中国の消費者物価指数の伸びが高まる** 中国の8月の消費者物価指数は前年同月比+0.8%と、市場予想通りながら、伸びが高まった。景気対策への期待に加え、資源株が買われたことなどから、本土株式が続伸したが、香港株式は中東情勢の悪化や米長期金利の上昇などを受けて続落した。日本では、前日の(右上に続く)
			(左下より続く) 米国での流れを受け、半導体関連株の一部は買われたものの、物色が拡がらなかったほか、中東情勢の悪化が嫌気されたこともあり、株式相場は続落した。外国為替市場では、円相場が概ね153円台で推移した。また、国債利回りは、円安の修正が続いたことなどから、低下した。
	×	世界	**米国とｲﾗﾝが攻撃の応酬となり、原油先物が続伸** 米軍は8日、ｲﾗﾝが米海軍の艦艇を攻撃しようとしたことへの対抗措置として、同国のﾀﾝｶｰ5隻を破壊したと発表した。9日には、ｲﾗﾝの革命防衛隊が、ﾖﾙﾀﾞﾝの米軍基地にﾐｻｲﾙを発射したほか、10隻の船舶を攻撃したと発表した。欧米の原油先物が続伸したほか、欧州の天然ｶﾞｽ先物も買われた。一方、欧米の国債は売られた。米国では、財務省が、残存期間10～20年の国債の買戻し額を最大60億ﾄﾞﾙとすると発表したが、市場ではより大規模な買戻しが期待されていたため、国債に失望売りが出た。欧米の株式相場は下落した。なお、10日のｱｼﾞｱでも、中東情勢の懸念などを背景に、株安となった市場が目立った。ただし、日本では、株価指数先物や半導体関連株の一角が引けにかけて買われたことなどから、株式相場は反発した。また、米長期金利の上昇を受け、長期・超長期国債の利回りが上昇した。
10日（木）	×	欧米	**欧米長期金利の上昇が続く** ECB(欧州中央銀行)は、市場予想通り、0.25ﾎﾟｲﾝﾄの利上げを政策理事会で決定した。米国では、8月の卸売物価指数が全体で前年同月比+5.4%、ｺｱでは+4.6%と、ともに前月から伸びが高まった。一方、8月の中古住宅販売件数は前月比▲2.0%の年率398万戸と、2025年6月以来の400万戸割れだった。また、ﾄﾗﾝﾌﾟ米大統領が前日、ｲﾗﾝとの戦闘の終結や原油価格の下落は11月3日の米中間選挙後になるとの見通しを示した。10日には、ｲｴﾒﾝの親ｲﾗﾝ武装組織ﾌｰｼ派が同国の要衝港湾を制圧したことが明らかになった。欧米の原油先物や欧州の天然ｶﾞｽ先物が続伸した。欧州では、ECBがｲﾝﾌﾚ見通しを引き上げたこともあり、追加利上げ観測が高まり、国債利回りが上昇したほか、株式相場は続落した。米国でも、ｲﾝﾌﾚ懸念の高まりなどを背景に国債利回りが上昇した。株式相場は続落した。半導体関連株の下落が目立った。外国為替市場ではﾄﾞﾙが買われ、円相場は154円台に下落した。金先物は売られた。11日には、ｱｼﾞｱでも総じて株安となった。日本では、国債利回りが上昇した一方、円相場は154円台に下落した。
11日（金）	○	米国	**利上げ観測は高まったものの、原油先物の上昇一服が好感される** 8月の消費者物価指数は、全体では前月と同率の前年同月比+3.4%、ｺｱでは前月の伸びを下回る+2.4%と、ともに市場予想通りだった。ただし、ｺｱの前月比が+0.3%と、予想や前月の伸びを上回ったことなどから、米利上げ観測が高まった。9月のﾐｼｶﾞﾝ大学消費者信頼感指数速報値は前月比▲3.9ﾎﾟｲﾝﾄの47.8と、市場予想を下回り、5月以来の低い水準となった。ﾎﾙﾑｽﾞ海峡の航行を巡り、ｲﾗﾝと湾岸諸国が14日に外相会合を開くと伝わり、ｴﾈﾙｷﾞｰ供給を巡る警戒感が和らいだことから、欧米の原油先物が反落した。欧州では、国債利回りが引けでは低下した国が目立ったが、独10年債では一時、2009年以来の高水準となった。米国では、国債利回りが上昇し、10年債で一時4.99%台と、2023年10月以来の高水準となった。欧米の株式相場は、原油高の一服を受けて反発した。円相場は、週末を控えての持ち高調整の動きなどから、153円台に上昇した。

今週および来週半ばまでの主な注目点（高:注目度大、中:注目度中、低:ご参考）

日付	注目度	国・地域	指標など（コメント）
16日（水）	高	米国	**8月の小売売上高** 7月は、全体で前月比▲0.6%、ｺｱでは▲0.4%だった。8月の予想はそれぞれ、+0.8%、+0.4%となっている。

上記のほか、今週は、米FRB(連邦準備制度理事会)のFOMC(連邦公開市場委員会)が15・16日、英中央銀行の金融政策委員会が16・17日、日銀の金融政策決定会合が17・18日に開催される。また、中国の8月の主要指標(15日)、日本の8月の消費者物価指数(18日)や、米国の9月のﾆｭｰﾖｰｸ連銀製造業景気指数(15日)、同月のﾌｨﾗﾃﾞﾙﾌｨｱ連銀製造業景気指数および8月の住宅着工件数(17日)、8月の鉱工業生産(18日)が発表される。来週は、米国では地区連銀総裁やFRB副議長の講演などが、ﾕｰﾛ圏では9月のPMI(購買担当者指数)速報の発表(23日)が予定されている。

信頼できると判断したデータをもとにアモーヴァ・アセットマネジメントが作成

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当資料は、アモーヴァ・アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。